

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
北海道	【行動計画】			
	当面の対応 (第1段階)	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な献血者の確保 1 効果的なPR活動の実施 2 道及び市町村における献血推進協議会委員に対する周知徹底 ○医療現場における血液製剤の適正使用等の推進 1 関係団体を通じた適正使用に係る各種指針等の周知徹底 2 輸血療法に関する実態調査の実施 3 医療監視を通じた適正使用に係る各種指針等の活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビ、ラジオ、道庁ホームページ等により広報を実施する。 ○各市町村に対し献血を依頼する。 ○厚生労働省が作成した血液製剤の使用指針等の各種指針を医療機関あて周知する。 ○医療機関内における輸血療法委員会の設置等に関する調査を実施する。 	需要に応じた安定的な血液製剤の供給が可能となる
	血液製剤の在庫数が適正在庫数を連続的に下回ったときの対応 (第2段階)	<ul style="list-style-type: none"> ○対策本部の設置 ○効果的な献血者の確保 1 効果的なPR活動の実施 2 献血参加をさらに促すためのボランティア休暇の推進 3 集団献血の実施 4 北海道赤十字血液センターの献血推進活動に対する支援 5 その他必要な対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○vCJD患者発生に伴う献血制限により献血者が減少していることを各種広報手段を用い、広報を実施する。 ○各種団体、事業所等へボランティア休暇の推進について依頼する。 ○各市町村、各事業所あて献血を依頼する。 ○献血会場が不足した場合は、市町村に対し会場の確保について依頼するとともに、検診医が不足した場合は、道立病院等に対し医師の派遣を依頼する。 ○移動献血車の駐車場所を確保する。 	需要に応じた安定的な血液製剤の供給が可能となる
	血液製剤の供給に支障が生じるおそれがあるときの対応 (第3段階)	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な献血者の確保 1 効果的なPR活動の実施 2 高校生献血の推進 3 その他必要な緊急対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○vCJD患者発生に伴う献血制限により献血者が大幅に減少し、道民の医療に必要な血液製剤の供給に困難が生じていることを各種広報手段を用い、広報を実施する。 ○各高等学校へ献血を依頼する。 	需要に応じた安定的な血液製剤の供給が可能となる
	【在庫不足時の対応】	上記行動計画の第2及び第3段階のとおり	上記行動計画の第2及び第3段階のとおり	上記行動計画の第2及び第3段階のとおり

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

別紙様式2

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
青森県	【行動計画】			
	① 若年層を中心とした献血者の確保	・16年度の献血者の減少のなか、10代・20代の献血者の減少割合が70%を占めている。このことから、若年層に対する啓発活動を強力に実施する。	①フリーペーパー・タウン情報紙の活用 ②「献血サンクスレター」パンフレットの活用 ③学生献血推進組織の育成	・若年層の集まる場所に設置することでPR効果が期待できる。 ・学生ボランティア組織の充実強化により、学内あるいは地域での活動が期待され、啓発が充実される。
	② 献血者の効果的な確保	・献血バスにおける献血者の減少が著しいため、地域における普及啓発活動を強力に実施する。 ・県庁献血においては、献血者の確保に努める。	①地域・事業所献血推進員の活用 ②県庁献血協力員の活用 ③市町村のイベント時の献血実施	・献血機会の増加 ・地域・事業所に密着した啓発が充実される。 ・県庁献血における献血者の確保が図れる。
	③ 血液製剤の適正使用等の推進	・血液製剤の使用量が年間約100単位以上の医療機関に対し、輸血療法委員会の設置状況や使用量等のアンケート調査を実施している。 ・自治体病院で、委員会等を設置していない施設がある。	①輸血療法委員会合同会議の開催及び研修会の開催 ②使用状況等のアンケート調査の実施 ③自治体病院事務局長会議における要請	・血液製剤の適切な使用が図られる。
	【在庫不足時の対応】			
	① 献血者の確保	・赤十字血液センターと十分な連携を維持する。	・県庁内での呼びかけ ・報道機関等の活用 ・県のホームページでの呼びかけ ・市町村への依頼	・緊急時に必要な献血者の確保が可能となる。

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
岩手県	【行動計画】			
	1 効果的なPR活動の実施	1 献血マスコットキャラクターの募集及び啓発への活用	1 マスコットキャラクターの啓発への効果的な活用	1 安定的な血液の確保
	2 高校生献血の推進	2 高校生献血の推進	2 献血思想の普及啓発、献血協力要請	2 将来的な献血協力者の確保
	3 献血ボランティア団体の支援	3 学生献血ボランティアの活動支援	3 若年層への普及啓発	3 若年層献血の推進
	4 集団献血の推進	4 企業、イベント会場での献血受け入れの推進	4 献血推進専門員等による地域企業・団体訪問、協力依頼	4 地域単位でのきめ細かな取り組み
	5 献血推進協議会の活性化	5 市町村献血推進協議会の設置・開催促進	5 市町村献血推進協議会の設置・開催の要請	5 市町村単位での取り組み強化、市町村との連携強化
	【在庫不足時の対応】			
	1 献血登録者制度の活用	1 献血登録者に対する献血協力依頼	1 事前の制度の充実に向けた取り組み	1 必要な血液型の血液の確保
	2 移動採血車の増車	2 休日の臨時配車	2 イベント会場、大型ショッピングセンター等への配車	2 平日の企業等での協力者以外の協力者の確保

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

別紙様式2

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
宮城県	<p>【行動計画】</p> <p>効果的なPR活動の実施</p>	<p>集客を行うための優位性は、ドナーを獲得しやすい地理的な条件と近代的な設備である。本県ではすぐれた眺望にも恵まれた仙台アエル20F献血ルームを中心に事業展開をおこなう。</p>	<p>年齢、地域性、時期等を考慮し、ターゲットを絞り、催し物等を開催する。</p>	<p>不特定多数にたいして、PRすることは、資材や予算が限られていることを考えると大変効率の悪いやりかたである。絞込みを行い集中的にPRを実施することにより、効率的にドナーをあつめることが可能である。</p>
	<p>【在庫不足時の対応】</p>	<p>各種広報手段を利用した啓発 既存の目標を確実に達成するよう努める。</p>	<p>ホームページ等により、在庫状況等の情報をタイムリーに提供する。新規の事業をはじめよりも、既存の計画を着実に実行することが重要である。</p>	<p>現状を知ってもらうことにより、県民の献血に対する意識を高めるとともに、医療機関での適正使用に対する意識向上を図る。献血量の確保は充分可能である。</p>

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
秋田県	【行動計画】 ①効果的なPR活動 ②集団献血の推進	①各種イベント又は街頭献血キャンペーン ②事業所献血の効率化を図る	①イベント又はキャンペーンの事前の広報活動を、新聞、広報誌、ポスター、ホームページを活用し、献血者へのPRを行う。 ②新規の事業所を開拓すると共に、既存の協力事業所には、献血者確保の依頼をおこなう。また、事業所献血を計画的かつ効率よく行う。	①事前にイベント等の広報活動を行うことにより、イベントでの献血者が増加する。 ②事業所献血を計画的に行うことにより、1稼働あたり献血者を目標に近づけることが出来、安定的に献血者を確保できる。
	【在庫不足時の対応】 ①在庫数の把握及び不足時の広報	①国から送付される、在庫確認、血液センターとの連携	①国から毎日送付される、在庫数を確認する。不足時には、血液センター、保健所、市町村と連携を取り報道機関や、広報誌等を活用し献血の呼びかけを行うとともに、直近のイベントの事前広報を強化する。	①不足時の大量の供給に対応出来ると共に、イベントで献血者を確保し、在庫不足を解消する。

別紙様式2

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
山形県	【行動計画】 ①若年層を中心とした献血者の確保 ②献血者の効果的な確保 ③血液製剤の適正使用等の推進 【在庫不足時の対応】 効果的なPR活動の実施	県内各高校への啓発資材の配布、高校生対象の献血キャンペーンなど、高校生による献血の推進を推進する。 市町村と連携しながら、献血推進員による企業や官公庁を訪問し、献血受入の推進を図る。 血液製剤を使用する病院を対象とした実態調査を実施するとともに、関係病院等へ血液製剤適正使用の要請など、医療現場における血液製剤適正使用の推進を図る。	・高校に対する献血のPR ・高校献血の実施 ・複数回献血の要請 ・新規事業所の開拓 ・輸血療法に関する実態調査の実施 ・保健所の病院立入検査を通じた「血液製剤の使用指針」、「輸血療法の実施に関する指針」等の周知徹底 ・毎朝の知事記者会見を利用した緊急アピールの実施 ・各種媒体を活用した広報及び報道機関への情報提供・報道依頼	・高校生献血者の増加 ・献血者確保率の向上 ・血液製剤の安定供給 ・献血者の確保、血液製剤の安定的供給

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 北海道・東北

道県名	事項名	事項の概要	取り組みで重点をおきたい事柄	期待できる効果
福島県	【行動計画】			
	1 県職員の積極的な献血参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県職員(県庁、合同庁舎及び出先機関等)の積極的な献血 ・ 臨時献血の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 1 集団献血の実施 2 複数回献血者の推進 3 高校生等若年層を中心とした初回献血者の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 献血者の確保 2 献血の推進 3 血液製剤の安定供給
	2 市町村への献血推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町村の献血目標達成に向けた協力要請 ・ 市町村職員の積極的な献血 ・ 愛の血液助け合い運動における、知事メッセージの伝達 		
	3 関係団体への集団献血	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内各部局における関係団体等への協力要請 		
	4 企業への集団献血	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業等への訪問及び集団献血の協力要請 		
	5 学校等での献血	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、短大、高等学校等の学生、生徒を対象とした協力要請及び職員、保護者等への協力要請 ・ 小、中学校教職員及び保護者等への協力要請 ・ 中学校等における献血推進ポスターコンクールを通じた、献血教育の推進 		
	6 各種広報活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種広報媒体を利用した広報活動 		
	7 福島県献血マスコット「キビチーちゃん」を活用した街頭での献血呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街頭献血時に福島県献血マスコット「キビチーちゃん」を活用した啓発 		

8 献血会場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動採血車の駐車場所等の確保 ・ 県有施設等での献血実施時の利用場所の提供 		
9 献血時の問診医等 献血スタッフの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動採血車配車増加に伴う問診医の積極的な確保 		
【在庫不足時の対応】			
1 在庫状況の確認	血液センターからの情報をもとに、在庫状況を確認	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報を分析し、在庫状況の変動を把握 2 在庫状況に応じた各種広報媒体による広報 	血液製剤の安定供給

(注) 内容については簡潔にとりまとめること。

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 関東甲信越地区

	事項名	事項の概要	取組で重点をおきたい事柄	期待できる効果
【行動計画】				
茨城県	若年層を中心とした献血者の確保	効果的なPRの実施	ラジオ放送、県ホームページ、県広報紙等での啓発	初回献血者の確保
		高校生献血の推進	大学祭でのキャンペーンの登録街頭キャンペーンでの呼びかけ	高校生献血者の確保
		献血参加を促すためのボランティア休暇の推進	市町村担当者会議の開催	市町村における献血のための特別休暇等の制度創設の推進
		幼・小児期からの献血教育の推進義務教育段階での献血教育の推進	県教委指導主事会議での協力依頼	義務教育段階での献血教育の推進
	献血者の効率的な確保	集団献血の推進	団体、大規模事業所への協力依頼	公務員・会社員を中心とした献血者の確保
	医療現場における血液製剤の適正使用等の推進	関係団体を通じた適正使用に係る各種指針等の周知徹底	医師会、病院協会への協力依頼血液製剤使用適正化研修会の開催	適正使用の徹底
栃木県	「緊急対応マニュアル」（仮称）の作成	県・市町村及び血液センターの適正在庫を下回る場合の役割を明確化したマニュアルを作成する。	血液センターと十分な協議を行った5月に血液事業主管課長会議（緊急）を開催し、市町村にマニュアルの骨子について説明し、協力を要請した。	適正在庫を下回る場合に、迅速な対応が可能となる。関係機関の連携・協力体制を強化する
	400ml・成分献血の初回献血及び複数回献血の推進	毎年献血者の減少する8月や12月末～3月に、初回献血者とししばらく献血していない者を対象として、400ml・成分献血のキャンペーンを行う。	オリジナル記念品の贈呈ラジオスポット放送やポスターの掲示などによりPRを行う 献血の間隔が数年程度空いている者(20～30歳代)に対し、事前にハガキで周知する	400ml・成分献血の安定確保に繋がる
	協力団体・企業等の確保	企業献血は毎年減少傾向であるが、今回の献血制限強化にともない、更に大幅な減少が見込まれる。このため、現在献血バスが行っていない団体・企業等に、献血の協力依頼をする。	商工労働部と連携し、献血への理解と協力が得られやすい環境づくりに努める 必要に応じ、県又は市町村及び血液センターが該当団体・企業等に対して協力依頼を行う 固定施設周辺の団体・企業等については、必要に応じて送迎を行う	企業献血の安定確保に繋がる

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 関東甲信越地区

	事項名	事項の概要	取組で重点をおきたい事柄	期待できる効果
群馬県	健康な献血者の確保	献血者の確保	①PR活動:知事緊急アピール、ホームページへの掲載、街頭キャンペーン実施 ②若年層献血の推進:血液センターによる高校訪問活動、高校生献血の実施 ③献血者の効率的確保:県庁献血、市町村献血、企業献血、市町村単位の協議会設置支援、市町村への周知徹底 ④医療現場における血液製剤の適正使用推進:医療機関への各種指針の周知徹底 ⑤推進本部等の設置:群馬県献血推進対策本部の設置	将来における献血者の安定的な確保、献血思想の啓発、地域の実情に応じた対応が可能。また、医療現場における血液製剤の適正使用が推進される。
埼玉県	健康な献血者の確保	高校生献血の推進、ボランティア休暇の推進、献血教育の推進 集団献血の推進、献血推進協議会の設立・開催、日赤に対する支援	高校生献血の推進等若年層の献血教育の推進	高等学校の訪問や学校への献血出前講座の実施を行い、明日の献血を担う若年層の献血への理解と協力が期待できる 献血予定事業所への事前訪問活動による協力要請により、効率的な献血者の確保が図られる
	医療現場における血液製剤の適正使用等の推進	適正使用の周知徹底 適正使用に係る各種指針等の活用の推進	医療監視を通じた医療関係者への周知徹底	院内体制の整備や適正使用が図られる
	推進本部等の設置	埼玉県献血推進対策調整会議の設置	献血推進における庁内関係課の連携強化	効果的な献血者確保対策が図られる
東京都	健康な献血者の確保	献血者及び血液の確保	①献血普及啓発用ポスターの作成 ②中学生向け普及啓発資材の作成 ③東京都ホームページ、広報東京都に献血情報掲載 ④東京都提供TV、ラジオを活用した普及啓発 ⑤東京都職員献血の実施(5月9日～13日) ⑥区市町村献血担当者連絡会にて区市町村の職員献血の回数増を呼びかける。	献血思想の普及 若年層の献血者確保 定期的な献血者の確保
	血液製剤の適正使用	血液製剤の適正使用の推進	適正使用の評価指標の策定	血液製剤の適正使用の一層の推進

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 関東甲信越地区

	事項名	事項の概要	取組で重点をおきたい事柄	期待できる効果
神奈川県	効果的なPR活動の実施	献血協力について知事から緊急アピールを実施した。 血液センターと連携し、横浜マリノスに協力を依頼して効果的なPR活動を実施する。 学生が実施する献血推進イベント「ボラフェスタ」を支援する。	血液センターと連携し、以前から献血推進に協力を得ている横浜マリノスに協力を依頼して、より効果的なPR活動を実施する。 学生自身による献血思想の普及活動を支援しながら、若年層に対する啓発の手段を共同で検討する。	知事やJリーグチームといった神奈川県顔となる人物等が献血への協力を呼びかけることで、県民に、より献血に関心を持ってもらうことができる。 若年層の献血者の確保
新潟県	献血者の確保	献血者の確保	県広報誌、テレビ、新聞等を活用した普及・啓発 市町村広報の強化によるバス1台当たりの献血者数の確保 事業所等における献血協力者確保対策の強化 商工会等関係団体を通じた事業所への献血協力依頼 若年層に対する普及・啓発 ・高等学校における献血講演会の開催 ・高校生に対する献血意識調査の実施 ・中学校教員向け啓発資料の作成・配布	年間を通じた血液製剤の安定確保
	医療現場における血液製剤の適正使用等の推進	血液製剤の適正使用	輸血フォーラムの開催 適正使用に係る各種指針の周知徹底	年間を通じた血液製剤の安定確保
山梨県	若年層を中心とした献血者の確保	近年の若年層の献血離れの中、将来の献血支持層を担う若年層の献血意識の高揚を図る必要がある。	若年層（10代～20代）への献血意識啓発 特に高校生等若年層を中心とした初回献血者の開拓	若年層への献血に対する意識の向上は、将来の献血支持層の強化につながり長期的な献血者の確保が図れる。
長野県	若年層を中心とした献血者の確保	効果的なPR活動の実施	ラジospottによる広報 ヤング街頭啓発活動 学生ボランティアによる呼びかけ	県民特に若い世代に献血への理解と参加を促す
		高校生献血の推進	校内献血実施校の開拓 全校訪問による協力要請	校内献血実施校の増加を図る
	献血者の効率的な確保	集団献血の推進	身近な献血機会の提供 タウン保健所街頭献血 臨時献血ルーム設置	身近に献血できる場所を提供することで献血者を確保する

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 関東甲信越地区

	事項名	事項の概要	取組で重点をおきたい事柄	期待できる効果
千葉県	若年層を中心とした献血者の確保	高校生、大学生等将来の献血を担う世代に対して献血の必要・重要性について認識してもらい、献血への協力について啓発を強化する	献血啓発ポスターの募集等により、高校生等若年層の献血意識の啓発を図る	献血について意識を高めることにより、将来にわたっての献血者の確保に繋がる。

(注)内容については簡潔にとりまとめること。

行動計画と在庫不足時の対応等について

ブロック名 関東甲信越地区

	事項名	事項の概要	取組で重点をおきたい事柄	期待できる効果
【在庫不足時の対応】				
茨城県	一次対応	一過性の安全在庫圏（適正値の75%）を下回る在庫の場合	市町村、企業等への予定献血者数の確保依頼 ハガキによる献血協力依頼	献血者の確保
	二次対応	安全在庫圏の下限値を下回る在庫が3日間程度推移する場合	事業所訪問による献血協力要請 ・採血の受付時間延長 ・移動採血車の増車 ・新聞、ラジオによる緊急広報	献血者の確保
栃木県	献血登録者制度の運用強化	これまで、まれな血液型やHLA型血小板の依頼以外には有効活用されていなかった献血登録者制度を強化し、血液の在庫状況に応じて、電話等で協力依頼をする。	夕方から夜の時間帯にかけて、直接登録者の自宅に電話をかけ、献血ルーム、母体、最寄の献血会場での献血協力を依頼する。	計画的な献血者の確保が可能となる
	移動採血車の増車及び固定施設周辺の団体・企業等への協力依頼	適正在庫の70%を割り込み、早急な回復が見込めない場合には、「緊急時の協力依頼先リスト」（候補団体・企業等には日頃から依頼しておく）をもとに、献血協力依頼を行う。	公的機関、年1回しか配車していない団体・企業等、運転免許センター、大型ショッピングモール等を中心に増車する。	一定数の献血者の確保が期待できる
群馬県	PR活動	PR活動	在庫不足に関する注意報・警報の発令、緊急街頭キャンペーン	効率的な血液の確保が可能
	献血者の確保	献血車の増車、血液センターからダイレクトメール・電話等による献血協力依頼	人の往来の多い大型ショッピングセンター等で献血バスを配置し、ダイレクトメール・電話等で献血協力を呼びかける	効率的な血液の確保が可能
埼玉県	効果的なPR活動の実施	知事による緊急アピール 主要駅前等献血キャンペーン実施 献血ルーム併設等大規模ビル館内放送の実施 県・市町村のホームページ等による献血協力の呼びかけ マスコミを通じての広報	主要駅前等献血キャンペーンの実施 マスコミ等を通じての効果的な広報の実施	知事による緊急アピールをマスコミ等を通じて実施することにより、県民への理解が得られ、献血者の協力につながった 献血ルームのある主要駅前でキャンペーンを実施することにより、多くの人に献血ルームに足を運んでもらうことができるため、効果が期待できる

(注)内容については簡潔にとりまとめること。